

大月町議会だより



97号

5月臨時会
6月定例会

令和元年8月1日発行 高知県大月町議会

97号 大月町議会だより

工事始まる

もくじ

P 2 5月臨時会

P 4 6月定例会

P 5 契約

P 6 条例・陳情等

P 7 一般質問

P 12 議会活動

P 13 みんなの広場

P 14 こんにちは

おおつき保育所完成予想図

○一般会計

1、269万円を減額補正

〈補正内容〉

・西日本豪雨災害の国庫負担率が確定したことによる財源調整。

補正予算

全員賛成

令和元年5月第2回大月町議会臨時会は5月20日(月)会期1日で開催され、平成30年度一般会計補正予算専決1件、条例改正専決2件、条例改正1件、請負契約1件の計5件が議案提出され、全議案が承認・可決されました。

5月臨時会

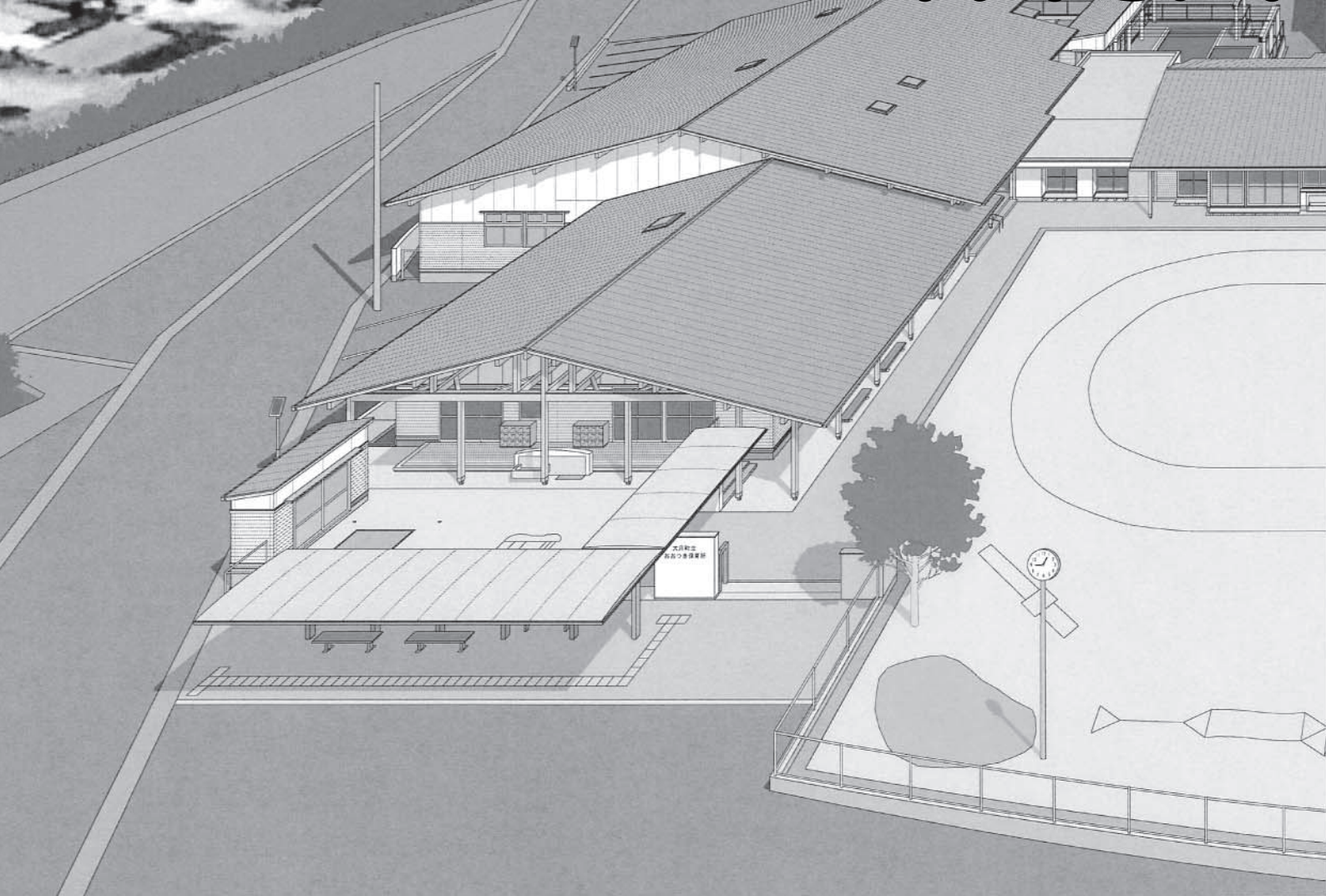
表紙写真によせて



昼休みのひとときです。
子どもたちの心も体もホッとでき
エネルギーがたくわえられます。

新築工事請負契約締結を承認

大月町立 おおつき保育所



条例 全員賛成

- 大月町税条例の一部を改正する専決処分の承認
 - ・ 地方税法の一部改正に伴い、寄附金の税額控除、軽自動車税の種別割の税率の特例など、関係する条項等の一部を改正。
- 大月町国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分の承認
 - ・ 保険料の上限額を58万円から61万円に改正。
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
 - ・ 返済据え置き期間後の保証人の有無による金利設定。

契約 全員賛成

○大月町立おおつき保育所新築工事請負契約の締結

契約の目的 大月町立おおつき保育所 新築工事

契約方法 指名競争入札

契約金額 6億2150万円

契約の相手方 大月町弘見1366-1

山本・久米特定建設工事共同企業体
代表者 株式会社山本建設

契約期間 契約発効の日から

令和2年3月1日

新たな取り組みに向けて

令和元年6月第3回
大月町議会定例会は、
13日から18日までの会
期で開催され、報告2
件、条例5件、補正予
算3件、契約4件の計
14件が議案提出され、
全議案が承認・可決さ
れました。一般質問は
4名が登壇し執行部を
たどしました。



様々なイベントが行われている改善センター

一般会計補正予算 主な使い道

○農村環境改善センター修繕費

2、600万円

○農地農業用施設災害復旧工事費

1、403万円

○児童福祉医療費助成金

120万円

令和元年度補正予算

会 計 名	補正前予算額	予算補正額	補正後予算額
一 般 会 計	56億9400万円	6186万円	57億5586万円
水道特別会計	2億3938万円	15万円	2億3953万円
介護保険特別会計	8億1568万円	53万円	8億1621万円

予算質疑

問 宿泊施設修繕料143万円計上の内容は、また、工事に係る金額は適正か。

答 ホテルベルリーフとエコロジークャンプ場の水源としている貯水槽の流水計が故障していたため取り換え、デジタルで管理ができるよう工事を行うものです。

デジタル管理に関しては、特殊業務、ソフト

トが付随するもので、夏場の繁忙期に使用料を管理しながら、施設内で流量統制をしているために予算は適正と判断しています。

問 ファミリーサポートセンターはいつ頃立ち上げか。

答 今年度はアドバイザー導入のための準備段階です。15歳から65歳までの該当者にアンケート調査を実施して、講習会などを行う予算を計上しています。



子育て支援の充実へ

契約 全員賛成

○普通河川橘浦川河川災害復旧工事請負契約の締結

契約の目的

平成30年7月8日の豪雨により被災した橘浦川の災害復旧工事を行う。

契約金額 5251万4000円

契約の相手方

大月町弘見233714

松田建設有限会社

契約期間 契約発効の日から

令和元年12月11日



被災した橘浦川の復旧工事箇所

○小型動力ポンプ付積載車購入契約の締結

契約の目的

大月町消防団第7分団才角部に配備している小型動力ポンプ付積載車の更新を行う。

契約金額 822万8000円

契約の相手方

高知市介良甲985番地5

高知消防システム株式会社

契約期間 契約発効の日から

令和2年1月31日



才角に配備する同型の小型動力ポンプ付積載車

○大月町簡易水道施設整備工事請負契約の締結

契約の目的

春遠ダムを水源として、安定した水道水の確保と、老朽化が進んでいる水道施設の更新を図るため、水道施設整備工事を実施する。

契約金額 9178万4000円

契約の相手方

大月町鉾土604番地21

月灘建設株式会社

契約期間 契約発効の日から

令和2年3月13日

○庁内ネットワーク用パソコン一式購入契約の締結

契約の目的

庁内ネットワークで使用しているパソコンの更新のため、パソコン126台を購入する。

契約金額 1256万5800円

契約の相手方

宿毛市長田町3番8011号

株式会社幡多情報エントランスセンター

契約期間 契約発効の日から

令和元年9月30日

条例 全員賛成

◆大月町森林環境整備基金条例

【内容】森林の間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用として、本年度から森林環境譲与税が譲与されることになり、これを基金として積み立て、必要に応じて活用するために制定。

(令和元年6月18日より施行)



未整備森林の解消を目指す

◆大月町福祉医療助成に関する条例の一部改正

【内容】児童福祉医療費助成の上限を18歳に達した3月31日までに引き上げ、子育て世代の経済負担を軽減する。

(令和元年10月1日より施行)

◆大月町介護保険条例の一部改正

【内容】介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令の施行に伴い、所得の少ない者に対する保険料軽減を実施する。

(令和元年6月18日より施行)

◆大月町宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

大月エコロジーキャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部改正

【内容】前2つの条例は「大月町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例」内の指定管理に関する条文と重複していたため、条例の統一性を図る。

(令和元年6月18日より施行)

陳情 全員賛成

陳情①②は本会議で採択、③④は総務厚生常任委員会に付託し採択しました。

この案を本会議で審議し、すべて原案の通り可決しました。

- ①日米地位協定の抜本改定を求める意見書
- ②新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- ③若者も高齢者も安心できる年金制度への改革を求める意見書
- ④最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書

※意見書は関係省庁に送付しました。

一般質問の録音放送

9月議会から告知端末による録音放送ができるよう準備をすすめています。

放送日時が決まりましたら、追ってお知らせいたします。





命をつなぐ・頭集地区の救急救命講習

一般質問

安岡邦彦 議員（P 8）

- ・ 防災、減災対策
- ・ 原木確保と施設の増設

中平順三 議員（P 9）

- ・ 人口減少に伴う人手不足
労働力不足
- ・ 高等教育無償化
- ・ 体験型観光の振興

高野真司 議員（P 10）

- ・ 有望品目産地化
- ・ 地域おこし協力隊の活用
- ・ 町内公衆トイレの整備

浦木秀雄 議員（P 11）

- ・ 教員の多忙化解消
- ・ 加齢性難聴者に対する
補聴器購入の補助制度

6 月定例会の傍聴者は
10 名でした。

次回定例会は **9 月** の予定です。
傍聴のお問い合わせは
議会事務局までお願いします。
（電話：0880-73-1682）

防災対策

水位計の設置を

積極的に取り組む／町長



安岡 邦彦議員



頭集に設置されている水位計

問 町管理の小規模河川に水位計を設置すれば、県管理河川の観測網と合わせ、氾濫の危険性を把握できる。避難準備や行動に繋がれるのではないか。

岡田町長 町内の県河川に設置されている水位計6カ所のうち、4カ所は警戒水位の設定がされていない状態です。県で定水位の検討を行っています。少し時間を要すると聞いています。県の水位設定が

決まり次第、選定方法に準じて町河川への水位計の設置を検討していく考えです。

問 炊き出し、要援護者の救護、安全に避難できるルート等は地区によって状況が違う。地域で支え合う共助体制を確立するため、地区の実情に沿った避難所運営計画を作成する考えは。

岡田町長 大月町が開設する避難場所に避難

できず孤立した場合に備えて、地域で支え合うきめ細かな計画を作るため地区との話し合いを進めていきます。

問 泊浦地区では、二度の豪雨災害により大きな被害を受け、尊い人命まで失われた。この地区は五つの沢が集まり、大雨が降れば一気に増水し、住宅地に流れ込む。これを改善するには河川改修が必要である。町長の見解は。

岡田町長 地形から見て取り組まなければならない、泊浦地区の重要課題だと認識しています。かさ上げ等の河川改修につきましては、県と協議しながら取り組んでいかなければならないと考えています。

備長炭生産

原木確保の進捗状況は

試験的に取り組んでいる／町長



良質な備長炭に

問 備長炭の原木確保について、四国森林管理局との協議を始めて一年が経過しているが進捗状況は。

岡田町長 ウバメガシの自生している国有林2カ所を候補地として、試験的に択伐・植栽し、資源循環型の原木確保を図り、備長炭生産組合が活用できるよう協議を進めています。備長炭生産事業の発展のためにどうしても必要

ということを強く伝え、少し時間がかかると思いますが積極的に進めていきます。

問 備長炭の生産は順調に進み町の産業として成功した事例である。炭窯を増やし増産を図る考えは。

岡田町長 現在のところ10窯中9窯が稼働している状態です。今、町として取り組まなければならないのは原木確保が最重要課題であります。10窯がフルに稼働し、更に安定した経営ができるよう組合と話し合いを進めていきたいと考えています。原木確保の問題解消後、要望に応じて炭窯の増設についても積極的に取り組んでいきたいと考えています。

人手不足・労働力不足

外国人労働者の受け入れは

今後進めていく／町長

岡田町長 漁業では、外国人研修制度を活用し、昨年からは本町で6名の研修生が実習している。今年度も新たに4名が実習する予定であるが、今後深刻な人手不足の状況が続くと思われる。後継者や漁業従事者確保に加え、外国人労働者の受け入れも考える必要があるのではないか。

漁業をはじめ他の産業でも労働者不足は深刻で、これからのこの様な状況が続くと思います。今後は、すぐも湾漁協や事業者と外国人労働者の受け入れについて、協議を進めていきます。

岡田町長 インドネシアからきた研修生が、安満地でまき網漁の実習をしています。



中平 順三 議員

岡田町長 労働力不足を踏まえ、研修施設を幡多地域に整備できないか、他市町村に働きかけていきます。



積極的に手を挙げる子供たち

高等教育無償化

町独自で支援を

状況を見極め対応／町長

岡田町長 一般の家庭では志があっても教育費の負担が大きく、大学や医大への進学を諦めざるを得ないのが現状である。県は本県出身者からの寄付金を積み立て「給付型奨学金」として支援しているが、本町でも返済不要の奨学金制度を創設し、町独自で支援してはどうか。

今後は、医療・介護の分野で働くことを志す町内の学生に対して給付型奨学金制度の創設に向け検討する時期に来ていると考えています。

観光振興

具体的な対策は

幡多で連携／町長

岡田町長 県では、今年2月から「リョーマの休日」と題して観光客誘致に取り組んでいる。本町でも、幡多6市町村が連携し積極的に取り組んでいるものの、受け入れ態勢が不十分と思われる。具体的な対策は。

岡田町長 本町は宿泊施設が乏しいため、日帰りや半日の体験メニューを観光商品として売り込みたいと考えます。町内を連携する観光政策のもと、滞在時間の延長や消費拡大につながるよう、幡多地域と協力して観光客増を図っていききたいと思っています。



シュノーケリングを楽しむ観光客

産地化計画

有望品目導入の取り組みは 収穫に向けて支援／町長



高野 真司 議員

問 有望品目産地化推進事業を活用した取り組みの1つであるオリブ栽培について、具体的な取り組みは。

岡田町長 本年度はオリブ生産組合が本事業を活用し、240アールに570本の苗木を定植しております。

農家の方に対し、新たに取り組む作物を大月町の有望品目として育てていただくための事業です。まず、大月町でオリブの栽培が可能なかどうかを判断し、令和4年の収穫に向けて支援を行っていく予定です。



オリブの苗木

地域おこし協力隊

町の活性化をどうはかる

人材確保・

サポート体制の充実／町長

問 地域おこし協力隊の活動経過と状況、今後の取り組み計画は。

野で、協力隊ならではの外部の視点を活かして活動しています。今後は、本町が求める人材を確保するための情報発信や相談会を実施し、協力隊を目指す方が、任期終了後の定住が想像できる受け入れ体制を整備し、協力体制を活用していきたいと思っています。

岡田町長 本町では平成26年から協力隊の募集を開始し、現在までに11名採用しています。地域産品の外商、シテイプロモーション、スポーツ振興などの各分



積極的に地区に入り活動を行う

公衆トイレ

具体的な改善は

清潔なトイレに／町長

問 町内の公衆トイレは近代的でなく利用者に印象が悪い。具体的に改善の方向に進めているか。

省略化、廃止、解体を検討するということになっていきます。

岡田町長 大月町公共施設等の総合管理計画の中では総合的な削減を基本とし、老朽化または類似施設の複合化、指示しています。



使いやすいトイレに



浦木 秀雄 議員

教員の多忙化解消

どのように改善するのか

タイムカード、支援員導入で／教育長

問 教員の多忙化の原因は「給特法」にある。

この法律はどんな法律でどこに問題があるのか。

浜崎教育長 「給特法」は、公立学校の教員について時間外勤務手当や休日勤務手当を支給しない代わりに、給料月額に4%に相当する教職調整額を支給することを定めた法律です。このため、教員の残業は自主的と捉えられ、長時間労働を常態化させてきたことに問題があると思っています。

問 給特法の根本問題は、労務管理の徹底がなされてこなかったことにあるのではないのか。

浜崎教育長 労務管理は大月町教育委員会、教育長が管理するようになってます。これは、町も見直す方向で、2

学期からタイムカードを導入し、自主的にどれだけ勤務したかを届けてもらうようにしています。

問 タイムカードや自主的勤務時間を把握しても、教育内容、勤務時間の増加、生活指導の難しさが減るわけではない。多忙化解消に向け専科教員を増やす。

また、家庭でも仕事ができるように、個人用のパソコンを学校で購入すべきではないのか。

浜崎教育長 文科省からも専科教員をいれたらどうかという考えは



じゃんけんは夢中

あります。

私も幡多6市町村の教育長会で、英語、体育、理科、音楽など小学校高学年から専科を入れることは、子ども達のためになるのではないかという意見を述べています。

町単独で、ALT(外国語指導助手)は入

れています。低学年の英語の支援員を入れたいと考えています。持ち帰り業務は、ないことが本来の姿です。個人のパソコンは使用しないようにしています。

加齢性難聴

補聴器購入の補助制度を

国に準じて対応／町長

問 加齢性難聴は、日常会話を困難にし、生活の質を落とし、うつ病の原因にもなると考えられている。補聴器は、高齢者の社会参加の必需品と言える。

大月町も独自の調査をし、補助制度の創設に向けて取り組むべきではないか。

岡田町長 本町の高齢者人口は70歳以上が1776人となっており、補聴器購入の補助制度は課題の1つです。

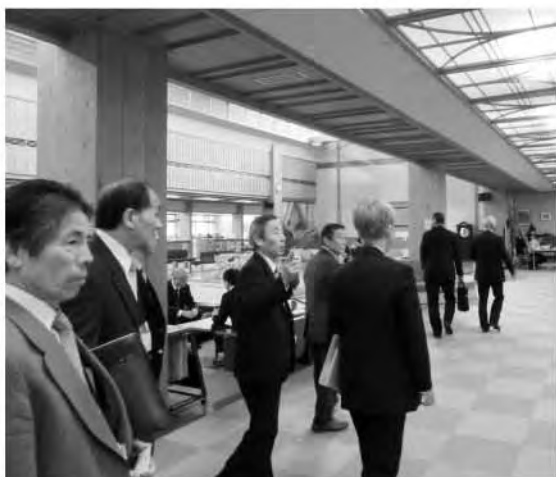
財務大臣もやらなければならぬ必要問題と答弁しています。国は政策的に制度を確立していただき、大月町もそれに準じて対応しなければならぬと考えています。



話に花が咲く

議会活動

県外視察研修



明るくひらけた庁舎（日南町）

平成31年4月10日から12日まで2泊3日の日程で鳥取県日南町・島根県海士町へ視察研修に行きました。

移住対策・人口減対策などを目的として研修を行い、積極的な意見交換を行いました。



日南町での研修の様子

【日南町】
にちなんちよう

「青年結婚ＩＵター
ン促進事業」という一大政策を実現するために、いきいき定住促進条例の制定・定住促進住宅の建設・子育て支援・農業支援などの諸政策を実施し、あらゆる視点からの積み上げで成果を上げていました。一つの政策を実現可能なものにするために総合力としての政策や施策は欠かせないものであることを実感させられました。



美しい街並みの海士町

【海士町】
あまちよう

「島が消える（超過疎化・超少子高齢化・超財政悪化）」という危機感から、全町民が一丸となって連帯意識のもと共存の道を歩んだことが町を残すことにつながったと感じました。良き指導者のもと、職員と住民が連帯し、知恵と努力を出し切った結果が、町を残すことになったと思います。

議会も研修を深め、町の発展に努めていきます。

議会報告会



長沢地区での報告会の様子

議会報告会は5月7日より6月3日まで、9会場（11地区）を対象に実施しました。たくさんさんの参加があり、貴重な意見や要望をいただきました。ありがとうございました。

みなさんの要望は、整理して町長に提出し回答を求めます。

みんなの 広 場 私の願い

ファミリーサポート センターを

なかすじ
中筋

のぶゆき
延介 さん
(芝)

ゆり
友里 さん

平成30年4月に大阪から移住してきました。

自然が好きで田舎暮らしがしたい、何か自分で仕事がしたいと思い大月にお店をオープンしました。この大月で生活ができるよう自分なりにコツコツと頑張っていると思います。

あちゃんがいて、子どもを預けることができないが、移住してきた私達には預けていける所がない。

四万十市にできたファミリーサポートセンターが大月町にもあればと思います。

子育てをしています。中自分たちが不安に思うのはどちらか一方が具合が悪くなったり、なにかあったりしたとき、頼りになる人がいないこと。町内の方でしたらおじいちゃんおば

ファミリーサポートセンターを



ちよっこり寄れる 拠点を作りたい

はしもと
橋本 信幸 さん
(龍ヶ迫)

千葉から夫婦で大月町に来て4年目になり、すれ違いに車で手を振り合う事が多くなった今日この頃です。

周りの市町村と比べると、大月町は人との距離がちょうどいいと

最近感じます。

移住相談員になったためか、そんな仲のいい大月町の人達と移住者、移住希望者など様々な人達が気軽に立ち寄れる拠点が欲しいと強く思うようになりました。

誰でも行けて、行けば誰かがいるような場所、一緒に物を作ったり、ご飯を食べたり、映画を観たり、みんながつながれるような空間を作りたいです。

自分はこのづくりが大好きです。

ひがしやまも近所の方に教えてもらいながら、何とか作れるようになりました。

今年、龍ヶ迫の自宅を自分でリフォームして、海を見ながらのんびりできる空間を作ったので、ぜひ遊びに来てください。



こんにちは

大月の農業に 新しい風を

亀尾地区

まつだ

てるよ

松田 照代 さん

大月町の一次産業を支える農家として、また農業委員としても地域の農業に深く関わっている松田さんに話を伺いました。

変わりゆく故郷

山の緑、海の青、とても美しいこの大月町で私は産れました。しかし今は、人口減少に高齡化の波が押し寄せ、至る所に空き家や耕作放棄地が増え、まだ耕作可能な良い土地には、作物のかわりに太陽光発電施設が設置され、緑だった田畑は黒いソーラー畑にかわりつつあると不安な思いを語られました。

新しい品目を

を栽培しています。今、農業は経費ばかりかかり、野菜の価格は安く生活が成り立たなくなっているのが現状で、「この状態で息子たちに農業を継いでほしいとは思わないし、継がせたくないと言うのが本音」と言っていました。

農業の現実

松田さんは現在、ビニールハウスで米ナス

厳しい現状の中でも、若い農業者は農業で生活をしていこうと毎日汗水たらして頑張っています。若者に負けられないと、大月でも栽培可能で面白い作物はないかと色々調べ、青パパイアを4月中旬に30本定植しました。一般的なかパパイアはフルーツとして販売されていますが、青パパイアは実が熟す前に収

穫して野菜として調理します。酵素が豊富で、タンパク質、糖質、脂質などを分解する作用があるそうです。葉はお茶に、皮は石鹸にもなる優れた作物で、上手く栽培可能なら栽培面積を広げ、仲間を増やし緑の畑をいっぱい

穫したいと考えており、加工もしてみたいですと抱負を語っていました。今作はまだ手探りなので、実を付けてくれるのが楽しみと笑顔で話していただきました。

(取材・野村満久)



日に日に成長するパパイアを丁寧に世話する松田さん

編集後記

南総里見八犬伝は『仁義礼智忠信孝悌』の八つの玉を巡る物語。

『仁義礼智』は人が生まれながらに持っているなければならない徳。

『忠信孝悌』は人が生まれてから身に付けるなければならない徳。

幼い頃より、その様に教えられてきた。未だにこの教えの生き様になっていない自分がある。人生一生、身も心も鍛錬・努力あるのみ。

(山本恒和)

議会広報常任委員会

委員長	山本 恒和
副委員長	安原 明彦
委員	浦木 秀雄
委員	野村 満久
委員	久米 里志

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)73・1682

印刷
有限会社 宿毛印刷